



2020年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月13日

上場会社名 メドピア株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6095 URL http://medpeer.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石見 陽
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 平林 利夫 TEL 03-4405-4905
 四半期報告書提出予定日 2020年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年9月期第2四半期の連結業績 (2019年10月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期第2四半期	2,311	49.6	484	46.6	508	59.9	341	51.4
2019年9月期第2四半期	1,545	44.1	330	78.7	317	57.1	225	122.2

(注) 包括利益 2020年9月期第2四半期 367百万円 (57.7%) 2019年9月期第2四半期 233百万円 (129.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期第2四半期	16.81	16.01
2019年9月期第2四半期	12.26	11.94

(注) 当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「1株当たり四半期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年9月期第2四半期	6,155	4,953	77.3
2019年9月期	4,009	3,414	80.8

(参考) 自己資本 2020年9月期第2四半期 4,756百万円 2019年9月期 3,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期	—	0.00	—	—	—
2020年9月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年9月期の連結業績予想 (2019年10月1日～2020年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,200	70.7	820	46.8	800	44.2	520	31.7	25.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期2Q	20,800,300株	2019年9月期	19,762,900株
② 期末自己株式数	2020年9月期2Q	478株	2019年9月期	478株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年9月期2Q	20,314,228株	2019年9月期2Q	18,388,321株

（注）当社は、2019年7月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により、予想した数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる過程及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループが属する医療・健康産業においては、団塊の世代が全員75歳以上に達し医療・介護費の急増が懸念される、いわゆる2025年問題、さらに、既に減少に転じている生産年齢人口が2025年以降に更に減少が加速する中で団塊ジュニア世代が全員65歳以上に達して高齢者数がピークを迎え、医療・介護費の負担の増加が拡大する2040年問題を抱えております。かかる展望を踏まえ、持続可能な経済財政の基盤固めに向けた構造改革を日本政府は推進しており、健康寿命の延伸を喫緊の課題として『予防・健康管理』と『自立支援』に軸足を置きつつ、テクノロジーの活用により医療・介護サービスの生産性向上を実現する、新しい医療・介護システムを2020年までに本格稼働させることとしております。

さらに、製薬企業は医療従事者に向けた営業活動の生産性向上を企図し、情報提供・収集活動の一環としてウェブサイトやアプリ、ソーシャルネットワークなど、デジタルツールを活用した取り組みをより一層強化しております。これにより、製薬企業にとってのeマーケティングは、かつての医薬情報担当者(MR)の「補完」としての位置づけから「主軸」としての活用を期待されるポジションへと変化しております。

このような環境の中、当社グループは、ミッションである「Supporting Doctors, Helping Patients. (医師を支援すること。そして患者を救うこと。)」を実現すべく、医師専用コミュニティサイト「MedPeer」を基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開するドクタープラットフォーム事業と、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開するヘルスケアソリューション事業に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高2,311,865千円(前年同四半期比49.6%増)、営業利益484,373千円(同46.6%増)、経常利益508,520千円(同59.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益341,446千円(同51.4%増)となりました。

セグメント別業績は次のとおりであります。

① ドクタープラットフォーム事業

ドクタープラットフォーム事業では、MedPeerのドクタープラットフォームを基盤として医師や医療現場を支援するサービスを展開しております。

当第2四半期連結累計期間においては、医師のためのインターネットテレビ「MedPeer Channel」を開局するなど、国内医師の3人に1人の医師会員が利用するMedPeer上のコンテンツを充実させることにより、医師会員の活性度を向上する施策を展開してまいりました。また、薬剤評価掲示板などの広告配信を中心とした収益機会をコンテンツ制作や効果測定などの領域にも拡大させることを意図したサービス開発や提携を推進してまいりました。2020年1月には、医療系コンテンツの企画制作に実績のある株式会社コルボを連結子会社化し、マーケティング支援をワンストップで提供する体制をさらに強化しております。

これらの結果、売上高は1,722,376千円(同45.3%増)、セグメント利益は584,870千円(同27.2%増)となりました。

② ヘルスケアソリューション事業

ヘルスケアソリューション事業では、健康増進・予防などのコンシューマー向けヘルスケア支援を展開しております。

当第2四半期連結累計期間において、子会社の株式会社Mediplatが運営する産業保健支援サービス「first call」、及び、株式会社フィッツプラスが展開する特定保健指導事業の各事業の収益基盤の強化に注力するとともに、株式会社Mediplatと株式会社スギ薬局の共同事業である「スギサポ」をはじめとするライフログプラットフォームの拡大を図るなど、事業拡大を推進してまいりました。また、「first call」が、新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策の一環として経済産業省が設置する「健康相談窓口」に選定されるなど、オンライン医療相談を活用して、生活者の健康不安の早期解消等を支援しております。

これらの結果、売上高は589,744千円(同63.8%増)、セグメント利益123,067千円(同178.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,145,293千円増加し、6,155,265千円となりました。これは現金及び預金1,167,296千円と受取手形及び売掛金354,536千円の増加を主要因とするものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて606,168千円増加し、1,201,814千円となりました。これは株式会社コルボを連結子会社化したことによる短期借入金81,030千円、長期借入金117,719千円の増加、及び未払法人税等59,474千円の増加を主要因とするものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,539,125千円増加し、4,953,451千円となりました。これは新株予約権の行使による資本金及び資本剰余金の増加1,170,370千円、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が341,446千円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ1,165,596千円増加し、4,294,708千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果獲得した資金は、420,791千円となりました。この主な要因は、税金等調整前四半期純利益を508,532千円計上した一方、売上債権が147,117千円増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動により使用した資金は、363,192千円となりました。この主な要因は、コルボ株式取得の支出294,360千円（保有現金及び現金同等物との純額）によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動により使用した資金は、1,107,996千円となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出56,349千円、株式の発行による収入1,164,345千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月13日に公表いたしました通期の連結業績予想には、新型コロナウイルスの感染拡大による影響は織り込んでおりませんが、当社グループの連結業績に与える影響は軽微と判断しておりますので、現時点におきまして変更はありません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。今後業績予想の数字に影響を及ぼす事態が生じた場合は、すみやかに開示を行います。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,129,112	4,296,408
受取手形及び売掛金	502,554	857,091
その他	30,530	98,904
流動資産合計	3,662,197	5,252,404
固定資産		
有形固定資産	61,862	102,647
無形固定資産		
のれん	14,166	266,263
その他	118,628	140,003
無形固定資産合計	132,794	406,266
投資その他の資産	153,117	393,946
固定資産合計	347,774	902,860
資産合計	4,009,972	6,155,265
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,363	90,887
短期借入金	—	81,030
1年内返済予定の長期借入金	53,896	120,142
賞与引当金	48,890	35,980
ポイント引当金	67,152	66,785
未払金	115,541	203,362
未払法人税等	77,633	137,108
その他	126,694	215,151
流動負債合計	497,171	950,448
固定負債		
長期借入金	98,474	198,107
資産除去債務	—	34,161
その他	—	19,097
固定負債合計	98,474	251,365
負債合計	595,645	1,201,814
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,306,734	1,895,528
資本剰余金	1,523,780	2,112,574
利益剰余金	411,964	753,411
自己株式	△448	△448
株主資本合計	3,242,029	4,761,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	△4,920
その他の包括利益累計額合計	—	△4,920
新株予約権	19,469	13,432
非支配株主持分	152,826	183,874
純資産合計	3,414,326	4,953,451
負債純資産合計	4,009,972	6,155,265

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,545,004	2,311,865
売上原価	471,887	786,092
売上総利益	1,073,116	1,525,773
販売費及び一般管理費	742,716	1,041,399
営業利益	330,400	484,373
営業外収益		
受取利息	9	72
持分法による投資利益	—	24,105
その他	384	825
営業外収益合計	394	25,003
営業外費用		
支払利息	771	833
持分法による投資損失	41	—
為替差損	21	0
貸倒引当金繰入額	18	—
新株予約権発行費	11,584	—
その他	369	22
営業外費用合計	12,807	855
経常利益	317,986	508,520
特別利益		
新株予約権戻入益	2,447	12
特別利益合計	2,447	12
税金等調整前四半期純利益	320,434	508,532
法人税、住民税及び事業税	75,077	95,616
法人税等調整額	12,289	40,421
法人税等合計	87,366	136,038
四半期純利益	233,067	372,494
非支配株主に帰属する四半期純利益	7,605	31,047
親会社株主に帰属する四半期純利益	225,461	341,446

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
四半期純利益	233,067	372,494
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	△4,920
その他の包括利益合計	—	△4,920
四半期包括利益	233,067	367,573
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	225,461	336,525
非支配株主に係る四半期包括利益	7,605	31,047

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	320,434	508,532
減価償却費	20,335	38,434
のれん償却額	16,999	28,180
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,986	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,761	△16,647
ポイント引当金の増減額(△は減少)	2,891	△367
受取利息及び受取配当金	△9	△72
支払利息	771	833
持分法による投資損益(△は益)	41	△24,105
新株予約権発行費	11,584	—
売上債権の増減額(△は増加)	△52,941	△147,117
仕入債務の増減額(△は減少)	18,618	△44,043
未払金の増減額(△は減少)	△3,996	68,098
未払消費税等の増減額(△は減少)	△1,428	37,857
その他	△7,267	25,936
小計	295,287	475,520
利息及び配当金の受取額	9	72
利息の支払額	△764	△786
法人税等の支払額	△116,969	△54,014
営業活動によるキャッシュ・フロー	177,562	420,791
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△17,814	△34,173
無形固定資産の取得による支出	△27,944	△36,601
資産除去債務の履行による支出	—	△1,240
差入保証金の差入による支出	—	△50
差入保証金の回収による収入	—	3,108
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△294,360
その他	—	125
投資活動によるキャッシュ・フロー	△45,759	△363,192
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	△60,000	—
長期借入金の返済による支出	△39,442	△56,349
株式の発行による収入	1,100	1,164,345
自己株式の取得による支出	△212	—
新株予約権の発行による収入	22,978	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△75,576	1,107,996
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	56,226	1,165,596
現金及び現金同等物の期首残高	1,823,694	3,129,112
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,879,921	4,294,708

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、UBS AG London Branch等から新株予約権の行使による払い込みを受けました。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ585,185千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が1,895,528千円、資本剰余金が2,112,574千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2018年10月1日 至 2019年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	ドクタープラ ットフォーム事業	ヘルスケアソ リューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,185,053	359,950	1,545,004	—	1,545,004
セグメント間の内部売上高 又は振替高	115	186	301	△301	—
計	1,185,168	360,136	1,545,305	△301	1,545,004
セグメント利益	459,876	44,149	504,025	△173,625	330,400

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去5,274千円、各報告セグメントに配分していない全社費用178,899千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年10月1日 至 2020年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	ドクタープラ ットフォーム事業	ヘルスケアソ リューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,722,306	589,558	2,311,865	—	2,311,865
セグメント間の内部売上高 又は振替高	70	186	256	△256	—
計	1,722,376	589,744	2,312,121	△256	2,311,865
セグメント利益	584,870	123,067	707,938	△223,565	484,373

(注) 1 セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去4,530千円、各報告セグメントに配分していない全社費用228,095千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。